

會から

○一月號に預告した通り、本號を二、三月號合併號として、

昨年十一月の日本保育學會の特集にしました。そのため二月は休刊した形になりましたが、特集の充實した内容は、その缺を補うて餘りあることを信じます。或は充實し過ぎて、雜誌のようでない位ですが、保育學の學術的文獻として迎えられ、また長く保存せられるのであります。本誌がその任に當つたことは、大きい喜びであり誇りであります。○保育の實際は、皆さんによつて常に力を用いられていますが、その學的研究はこれから大に進展せられなければなりません。本誌の誌友諸君も、齎て日本保育學會の會員となられ、又進んでその研究を學會に發表せられることを希望いたします。

○第二回の學會は、五月頃開催の豫定で、いづれ學會からお知らせする筈です。

○さて、三月は幼稚園も保育所も、多くの幼児達を送り出す月です。幼児達、その親達、また先生方のおめでたさに變りありません。ですが、先生方は、その祝いの中にも、幼児達と分れる寂しさを感ぜずにはいられないでしょう。入園入所の始めの日からくらべて、こんなに大きくなり、こんなに強くなり、殊に

こんなに開きわけがよくなつたこと、更めて驚かされる思いもしましょう。そうして、毎日々々の親しい交りから分けゆくのを、残りおしく思わずにいられないのです。

○だが、幼児達は先生とお別れし、幼稚園保育所を去ることに、なんの感情も感じないでしよう。幼児達は、新しい小学校入學ののめ楽しんで、その希望一つに胸を張つて出てゆくのです。その輝かしい希望の喜びに對しては、先生方も、分けの感傷なんかどこへか飛んで仕舞うでしょう。

○春のさかりも、もう目の前です。新しい保育期にそなえて、皆さんの目に光りと、手力のいよ／＼／＼／＼を、切に祈ります

幼児の教育」編集

編集主幹

協力委員

倉橋惣三

牛島義友

及川ふみ

齊藤文雄

多田鐵雄

山下俊郎

編集部員

西山浪太郎

日本幼稚園協會

幼児の教育

第四六卷 第三、五號

特集 定價 金四拾五圓

(普通號定價 金二拾圓)

昭和二十四年三月十日印刷

昭和二十四年三月二十日發行

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

編輯者 倉橋惣三

發行所

東京都千代田區神田保町二ノ四

印刷者 佐野真一

東京都千代田區神田保町三ノ二九

印刷所 明和印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田保町二ノ四

發賣所 株式會社

フレーベル館

電話九段(33)三九七一番

振替東京一九六四〇番

○本誌御購読について注文申込その他は凡べて發賣所フレーベル館宛に願います